

平成31年度 歯科口腔保健事業計画（健康推進課）

歯科口腔保健
推進の方向性

1 乳幼児期及び学童期・思春期の
歯科口腔保健対策の重点化

2 歯周病予防対策の強化

3 要介護者、障害児・者への歯科口腔
保健対策の充実

4 連携体制の整備を推進するための
施策の展開

県民に対する啓発普及

妊娠期における歯科保健対策事業 (195千円)

妊産婦及び乳幼児の歯科口腔保健の推進を図るための普及啓発（12,000部配布予定）

宮城県歯科保健大会 (90千円)

歯科保健大会の開催や表彰を通して、家庭の中で歯の健康管理を通じた健やかな生活づくりを推進し、「全身の健康は、歯の健康管理から」という予防意識を広く県民に啓発することを目的とする

フッ化物洗口普及事業 (1,110千円)

新たな施設でフッ化物洗口を導入する市町村を支援し、県内のフッ化物洗口の普及を推進（人材育成等の技術的支援、導入に要する費用の一部を補助）

働き盛り世代の歯と口腔の健康づくり普及啓発事業 (1,328千円)

働き盛り世代及びその家族等の幅広いライフステージを対象とした、歯周病予防対策に関する啓発資料を作成し、意識啓発及びセルフケア方法の発信を行う

職場の歯周病予防啓発事業 (1,864千円)

職場での歯科検診の実施状況や歯周病予防対策について調査、発信を行うことで取組事業者へのインセンティブと他の事業者への啓発を行う

市町村への補助事業 (13,195千円※)

市町村が行う歯周疾患検診に係る費用の補助
※ 市町村見込

職域に対する 歯科保健普及事業 (1,065千円)

被用保険者の運営団体や労働安全衛生団体と連携し、企業の健康づくり担当者等を対象に講話等を実施することで、事業所における歯科口腔保健の取組を推進（5か所程度）

幼児歯科保健関係者研修会 (153千円)

幼稚園教諭、保育士、市町村母子保健担当者等に対する研修会を行い、乳幼児の歯科口腔保健を推進（1回）

学童期・思春期の歯と口腔の健康づくり研修会 (212千円)

小中学校保健主事、養護教諭等への研修会を行い、学童期における歯科口腔保健を推進（5か所程度）

障害児親子歯みがき教室 (349千円)

障害児の保護者、施設職員等に対する歯みがき指導を通して、障害児への口腔ケアの定着を推進（2か所程度）

歯科保健推進協議会 (277千円)

本県の歯科口腔保健事業の実施方針の協議、本県の歯科口腔保健に係る重要事項決定

口腔保健支援センター運営事業 (3,689千円)

歯科医療等業務の従事者、市町村担当者等を対象にした啓発、情報収集、人材育成を目的とした研修会を実施し、各種歯科口腔保健施策を推進

在宅歯科医療連携室整備事業 (計 14,216千円)

1 在宅歯科医療連携室整備事業（6,427千円）

在宅歯科医療及び口腔ケアに関する情報提供のための、全県的な在宅歯科医療の相談窓口を設置するほか在宅歯科医療・口腔ケア従事者の確保及び資質の向上のための研修を実施

2 障害児・者歯科保健・医療体制整備事業（5,000千円）

障害児・者の口腔ケアや歯科治療を行う診療等に対し、人材育成の支援を行うことにより、県内における障害児・者歯科保健・医療体制の拡充を推進

3 在宅及び障害児・者歯科医療連携室整備推進事業（2,789千円）

在宅及び障害児・者に対する歯科医療提供体制を整備するため、人員の配置及び研修会の実施に補助

8020運動及び歯科口腔保健の推進に 関する検討評価委員会 (203千円)

8020運動推進特別事業等の実施手法に関する検討・評価

市町村歯科保健担当者研修会 (153千円)

市町村母子保健・歯科保健担当者による県内の課題共有と市町村間の情報交換（1回）

他分野による歯と口腔のネットワーク会議 (743千円)

歯周病と糖尿病、心疾患等の全身の健康と関係するものであり、各関係団体と連携して事業を進めるため、関係団体を招集した会議の場を設け、連携事業の検討等を行う（2回）

フッ化物洗口に係る連携体制の強化

各関係団体の連携強化を図り、市町村がフッ化物洗口に取組みやすい体制整備に努める

歯科医療従事者等に対する研修